

あーち通信

arch-tsushin



vol.64

神戸大学大学院人間発達環境学研究所 ヒューマンコミュニティ創成研究センター サテライト施設「のびやかスペースあーち」

●●●●●●●●●● 開館時間 10:30~17:00 (金曜は 19:00 まで) ☆日月祝はお休み ●●●●●●●●●●

〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通 3-6-18 TEL / FAX : 078-805-6090 e-mail:zda@kobe-u.ac.jp または itoa@kobe-u.ac.jp



「筆をもとう」の沼館さんに書いていただきました

新しいプログラム

あーち博物館

NADART

～神戸大学 大学院生による展覧会でもない
コンサートでもない “灘区の素材” を使った ART～
1 月 27 日 (木) ～2 月 2 日 (水) 9:00～21:00

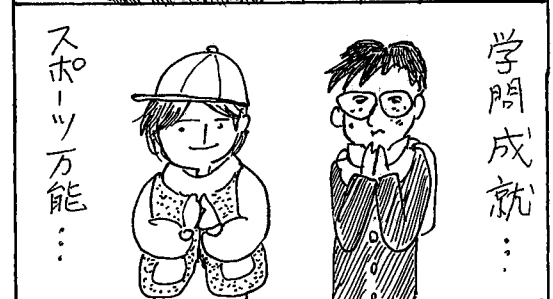
※ 演奏・ダンスのパフォーマンスは
29 (土) 30 (日) 両日とも 15 時 30 分 start

灘区民ホール 1F ロビーにて



えんじえる君 by Bon

新年の願いごと



1月予定表

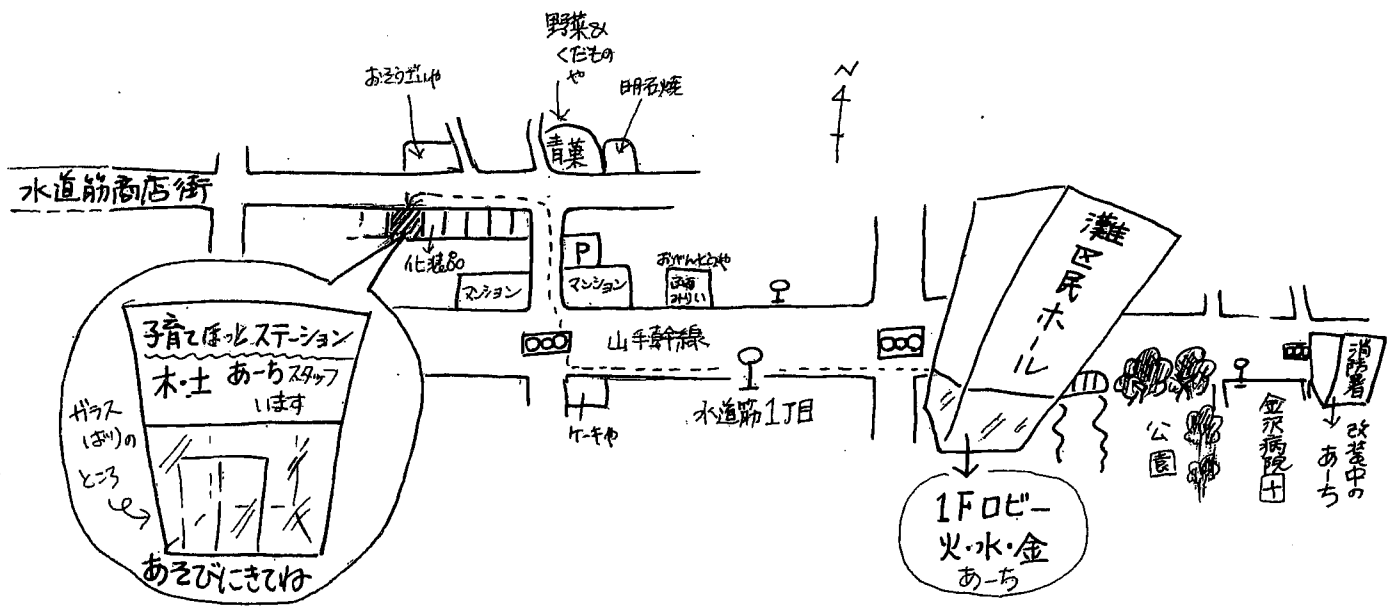
		灘区民ホール		水道筋商店街
		イベントスペース(火・水・金)	会議室	(木・土)
1～4	土・日 月・火	休館(12月26日～1月4日)		
5	水	ふらっと 11時～4時		
6	木			ふらっと 10時30分～4時30分
7	金	ふらっと 11時～4時 居場所づくり 3～6時 演劇ワークショップ 5時～6時		
8	土			ふらっと 10時30分～4時30分
9・10	日/月	休館		
11	火	ふらっと 11時～4時 おひさまひろばあーち 午前中		
12	水	ふらっと 11時～4時 おりがみあそび 2時30分～		
13	木		あーち通信編集会議 10時～11時30分 於：1階ロビー空きスペース	ふらっと 10時30分～4時30分 めだか親子クラブ 2時30分～
14	金	ふらっと 11時～4時 居場所づくり 3時～6時 演劇ワークショップ 5時～6時		
15	土			ふらっと 10時30分～4時30分 紙芝居 11時～
16・17	日/月	休館		
18	火	ふらっと 11時～4時 おひさまひろばあーち 午前中		
19	水	ふらっと 11時～4時		
20	木	(あーち連絡協議会 3時～5時 於：大学)	筆をもとう 1時～2時30分	ふらっと 10時30分～4時30分
21	金	ふらっと 11時～4時 居場所づくり 3時～6時 アートセラピー 3時～5時 演劇ワークショップ 5時～6時		
22	土			ふらっと 10時30分～4時30分 おはなしの国 2時～
23・24	日/月	休館		
25	火	ふらっと 11時～4時 おひさまひろばあーち 午前中	博物館(準備期間) 1階ロビー	
26	水	ふらっと 11時～4時	博物館(準備期間) 1階ロビー	
27	木		博物館(展示) 1階ロビー 筆をもとう 1時～2時30分	ふらっと 10時30分～4時30分 めだか親子クラブ 2時30分～
28	金	ふらっと 11時～4時 居場所づくり 3時～6時 らくがきおばさんがやってきた 3時30分～5時 演劇ワークショップ 5時～6時	博物館(展示) 1階ロビー	
29	土		博物館(展示)演奏・ダンス3時30分～	ふらっと 10時30分～4時30分
30・31	日/月	休館 <但し：博物館(展示)演奏・ダンス 3時30分～>		

- ・太字のプログラムは今月の特別プログラムです。・どのプログラムも参加または見学することができます。
- ・プログラムへの参加年齢の制限はありません。・詳しくは受付までお問合せください。
- ・やむを得ない事情でプログラムがお休みになることがあります。ご了承ください

*一時休止プログラム ⇒ ほのぼの音ランド 親子わらべ歌あそび おしゃべりほっとタイム 2011年4月より再開予定

*場所変更 ベビーマッサージ(あーち親子会員のみ対象 予約制)⇒ 六甲地域福祉センターにて
持ち物変更 予約方法：「あーち」受付で直接予約をお取りください。予約受付開始は1月5日より。電話では受付できません。
プログラム 詳細はスタッフにお聞きください。持ち物は、レジャーシート バスタオル 日頃の赤ちゃんの飲み物です。
15日(土)11時～11時30分<はいはいの頃> 21日(金)11時～11時30分<ねんねの頃>

*場所変更 あーち人形劇 8日(土)2時～3時(於：六甲道児童館)
プログラム あーち連絡協議会 ⇒神戸大学発達科学部HCセンター 20日(水)3時～5時



「あーち」一時移転先 まっぷ

◎ 灘区民ホール (火・水・金 11時～4時)

◎ 水道筋「子育てほっとステーション」(木・土 10時30分～16時30分)

『大地震サバイバル』

2010年9月11日 初版

監修・国崎信江

まんが・ユータ

学研教育出版



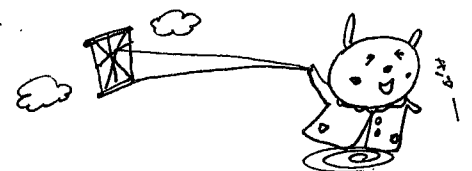
▶ 地震が起きたら→避難→身を守る→備え...

状況に応じてのクイズに今までの大地震からの豆知識も沢山。

▶ 阪神淡路大震災を体験していない小5の息子。人と防災未来センターに行っても、「こわー。でもこんな感じ?」長男は当時3歳で記憶に残っているかな? けれど、対応策を話し合うことはやりやうがなければ。二男には少な苦戦。なのでこの一冊は絵も内容もわかりやすくいいなあと思いました。

▶ 難しい事ですが、やはり繰り返して対応策を考えたければ、あの時から年月が経つと怖かった。でも「あれ?」小さな事の対処はどうしたのかな? 忘れてきていると思います。子どもも成長し親の手元から離れていきます。自己判断する力を少しずつつけて欲しいですね。

浜家



それぞれの子育て事情（中国編続き その7）

今回は留学生の盛（せい）さんが現代の中国の親について記事を寄せてくれました

中国の親たち

中国には「子不教父之過」ということわざがあります。子どもが勉強しない、優秀な人材に育たないのは、親たちの責任だというものです。教育に熱心な中国の親たちは、わが子の良い成長を願って必死に頑張っています。

先月号の『それぞれの子育て事情（中国編）』でもお伝えしたように、中国では幼稚園がまだまだ足りない状況で、しかも毎年募集人数が定員制となっており、入園がとても難しくなっています。でも、どんなに入園が難しくても人生の始めからほかの子に負けないようにと思っている親たちは入園申し込みのために、徹夜で行列をして順番を待つことも多いようです。なぜなら、申し込み当日行くと、とても長い行列できるので、なかなか自分の順番がまわってこないからです。

また親たちは、子どもが生まれてから早いうちに、入園資格を何とか手に入れようといろいろな工夫をします。入園することだけでも親たちは大変ですが、さらに子どもが6、7歳になると有名な小学校に入れるため、小学校の近くに家を借りたり、引越しをしたりすることが珍しくなくなっています。そして、将来良い大学へ入れるため、中学や高校の時期に家庭教師を雇う家庭も増えてきました。

一人っ子政策の中国では、両親の愛情をひとりの子どもに注ぎ込みます。「うちの子に一番良いものを持たせたい」、「よその子はすでに持っているから、うちの子も持たないと」というような話をよく聞きます。現在、高度成長期の中国では、自分の子どもが時代の競争に負けないように、親たちは多大な経済的負担を抱えています。しかし、すべての親たちがこれほどの経済力が持っているわけではないのです。親の見栄の張り合いという心理もあるのかもしれませんが、親自身より子どもが大切に、無理をしても子どもに劣等感を感じさせたくないというのが親の本当の心境でしょう。

絵本の世界へようこそ

『ひとまねこざるときいらいぼうし』

H.A. レイ文・絵 光吉夏弥訳

岩波書店 1998年

とても知りたがり屋で、ひとまねが大好きなおさるのジョージ。

知りたがり屋で、自由奔放な性格のおかげで、周りは時にジョージに振り回されます。

でも、なんだか憎めないジョージ、愛されるジョージ。

大人も子どももきっとジョージの魅力に引き込まれていきます。

ぜひ読んでみてください（種村）。

